

消費者志向自主宣言

2021年11月18日
株式会社 なかたか
代表取締役 長谷川雅生

(1)理念

「麺づくり」を通して地域社会に貢献してまいります！

わが国における「麺づくり」は歴史も古く、しかも各地方・地域の歴史と文化に培われ、それぞれの製法と味をもった日本を代表する食と言えます。私たちは、「麺づくり」を通して消費者のみなさんのニーズにお応えするだけでなく、地域社会や未来の世代のための取り組みを推進し、持続可能な社会に向けて貢献してまいります。

(2)取り組み方針

消費者の方の声、従業員の声、地域の声、世界の声に耳を傾け、行動する。

ア)みなさんの声を活かし行動すること

- ・SNSやAI技術などを利用したみなさんとのコミュニケーションをさらに深化させ、みなさんから信頼をさらに得て行動してまいります。
- ・消費者みなさんの声を謙虚に受け止め、さらに製品・サービスの品質向上につなげてまいります。
- ・工場直販「めんぐるめバザー」の開催による地元消費者のみなさんとの交流活動
- ・SNSを利用した山陰地方のラーメン店紹介
- ・バスケットボールB1リーグ「島根スサノオマジック」への協賛活動を通じ(当社の特定商品購入されると、その売上の一部を支援に充てております)消費者のどなた様でも支援できる取り組みをしています。
- ・松江市出身松本ひろゆき氏が開発したプログラミング言語「Ruby」のロゴを使用した商品を販売、売上の一部を管理団体「Ruby-Association」様に協賛する取り組み

イ)未来・次世代のために取り組むこと

- ・「SDGsの取組方針」を明確化し、社内外に発信しています。
- ・包材へのバイオマスインクの使用。

- ・廃棄ロスの削減への取り組み(フードロス対策・受発注システム改善)

- ・地元の雇用創出の取り組み

- ・脱プラスチック化への検討推進

- ・地元食材の有効活用

ウ)法令の遵守／コーポレートガバナンスの強化をすること

- ・消費者関連法規の遵守を徹底してまいります。

- ・従業員満足がコーポレートガバナンスの基本であると考え、従業員がいきいきと活躍できる職場作りに力を入れてまいります。

エ)消費者団体との連携協力による SDGs とエシカル消費に向けた取り組み

- ・上記取り組みに向け消費者ネットしまね等消費者団体と意見交換を行います。

- ・消費者ネットしまねの専門家講師派遣事業等を活用した研修会を開催し、それに基づき消費者志向経営力を向上させていきます。